

# 平成26年度の運営総括及び来期の課題

白根児童センター

今年度は、昨年度に引き続き地域との連携によって、イベントの幅がより一層広がりました。白根児童センターが、地域に溶け込んできたことを実感しています。開館から7年6か月が過ぎました。幼児から高校生まで幅広い年齢層が来館するようになってきました。子どもたちにとっての『居場所』が定着してきたと思います。就職してから「ふらっ」と顔を見せてくれる子どもも見られます。とにかく話を聞いてほしい気持ちがいっぱいです。また若いママになって、お腹の大きい姿を嬉しそうに見せに来てくれた子どももいました。小学生から通っていた児童センターの存在が、大人になっても心に残ってくれていることをうれしく思いました。

## 1. 乳幼児事業

### (1) 総括

育休中の子育てを楽しんでいる母親の姿が多く見られました。それぞれの家庭の事情から仕事に復帰しなければいけない。子どもと一緒にいられる時間を大切に過ごしたい気持ちが伝わってきました。南区の『子育てオーエンジャー☆みなみ』の方々と連携を取りながら子育てにやさしい南区をピーアールできたと思います。講座・広場開催を通して、母親を孤立させない、情報共有できる仲間づくりに焦点を当ててきました。

### ① ちびっこ広場

毎週月曜日11時から行っています。当日の子どもの様子を見ながら、企画内容を変えて、親子で一緒に楽しんでいます。「あ！こんなことができるようになった」と子どもの成長発見の場にもなります。広場が終わった後は、ママ同士の情報交換の場になります。季節に応じた行事、『七夕まつり』、『ミニミニ運動会』、『ハロウィン』、『クリスマス会』、『お楽しみ会は』は大好評です。

### ② 作って遊ぼう

毎月1回金曜日に行っています。親子で一緒に製作を楽しみながら、出来上がった作品で遊んだりしています。家庭では触れる機会が少ないはさみを使うなど、指先を使った内容を取り入れています。時々おとなのほうが、夢中になってしまう姿も見られます。牛乳パック・食品のトレーなど身近にある素材を使って、家でも楽しめる工作も提案しています。

### ③ 保育園児・幼稚園児の交流会

7月『七夕お楽しみ会』は白根保育園・カトリック幼稚園・白根そよ風保育園、10月『ハロウィン』は白根保育園・白根そよ風保育園・カトリック幼稚園・月潟保育園の年長児が参加しました。他園の子どもたちとチームを組んで、緊張しながらルールを守ってゲームを楽しんでいました。広いアリーナに子どもたちの楽しい声が響きわたっていました。

### ④ 移動児童館（カプラで遊ぼう！！ 英語で遊ぼう&音楽遊び）

児童館をより広く知ってもらうために移動児童館を行い、保育園・幼稚園を訪問しました。『カプラで遊ぼう！！』は、フランス生まれの積み木を使って、タワーやナイアガラの滝を作り、園児たちは集中して取り組んでいました。最後に積み木が崩れる軽やかな音の響きを楽しみました。カプラは、年齢を問わず楽しめ、子どもたちの創造性を高めることができます。『英語で遊ぼう&音楽遊び』は、音楽に合わせて英語で歌を歌ったり、英語の指示でゲームを楽しんだりしました。楽しみながら英語に触れてきました。各園から喜んでもらうことができたので、今後も継続していきたいと思います。

### ⑤ BP 講座

『赤ちゃんがきた！』の愛称でベビープログラム（BP 講座）を行いました。今年度は、南区で4回開催することができました。「仲間づくり・親子の絆づくり・少し先を見越した育児の基礎知識の学習」を目的にしたプログラムです。対象は、第1子の2か月～5か月までの母親と赤ちゃんです。講座に参加したママから「同じ悩みを持った人に出会えて良かった。私だけが悩んでいるわけじゃない」「同じ月齢の赤ちゃんにたくさん出会えた」と安心と共感してもらえる仲間に出会えた喜びを感じてもらうことができました。講座終了後も定期的に会って、情報交換をし、子育てサークルを立ち上げようとしています。同じ立場で同じ悩みを話せる関係性は、とても大切だと感じました。

### ⑥ 『白根コミュニティ協議会』との共催事業

11月～12月に『ママのためのやすらぎタイム』を行いました。ヨガや料理・クリスマスキャンドルリース作りを体験しました。母子分離の事業でママのリフレッシュを目的にしています。「子どもから離れて自分の時間を過ごすことができて楽しかった。」「ゆっくりとほかのママたちと話すことができてよかった」と講座を終えたママたちの表情は明るくなっていました。

### ⑦ 『子育て安心ささえ隊<sup>みなみく</sup>3739』との共催事業

9月に『リンパマッサージ』の講座を母子分離で行いました。日頃子育てで疲れている体をメンテナンスする方法を教えてもらいました。『子育て安心ささえ隊』のメンバー

は、少しでも子育て中のママたちに元気になってもらいたいという思いでいっぱいです。『地域で子育てを応援しています！！』をスローガンにしています。今年度は、補助金を社会福祉協議会からいただき実施しました。1回の講座しか開催できませんでしたが、来年度はもう少し回数を増やしていきたいとがんばっています。

#### ⑧『子育てオーエンジャー☆みなみ』の方々の共催事業

児童センターで『ほっぺちゃんひろば』を年4回開催しました。ハンドトリートメントや絵本読み聞かせ、ピアノ演奏を行いました。ハンドトリートメントは、日ごろの家事でガサガサになってしまった手が、つるつるになり好評でした。ピアノ演奏は、ママたちの心の癒しになり、穏やかな雰囲気になりました。来年度の継続事業になります。南区は、地域の人たちと共に子育てしやすい地域をめざしていることが伝わってきます。

#### (2) 来期の課題

講座を通して、ママたちから「私たちは、子育てについて学んでいるけど、パパたちにも学ぶ機会を設けてほしい」という声が聞かれます。講座修了した家族を集めて同窓会形式を企画していきたいと思います。パパたちも参加しやすいように環境を考えたいと思います。男性からの視線で子育ての意見交換ができれば楽しいかなと思います。

## 2. 小学生事業

### (1) 総括

子どもたちにとって児童センターが『居場所』になっています。事業の内容も白根コミュニティ協議会さんから援助をいただき実施しました。地域の課題から、誰でも学べる学習支援に取り組みました。金銭面は、白根コミュニティ協議会さんから全面的に協力をいただき、子どもたちは安心して学ぶ機会を得ることができました。核家族化で共働きが多く、日々時間に追われて生活している環境の中で、子どもたちにとって『自分の家』のような感覚が芽生えてきているようになってきました。地域の中で子どもたちが安心して育つ居場所づくりをしていきたいと思います。

#### ①自主クラブ活動

##### 【ピアノ連弾クラブ】

ピアノ連弾クラブは4年目になりました。主に職員の指導の下でピアノに触れて音楽を楽しんできました。12月のラスペックホールでの音楽発表会が大きな目標でした。発表会が近づいても曲が仕上がらず、焦り出す様子が見られました。投げ出さず職員と一緒に取り組み、本番にはしっかり弾くことができました。大きな目標に向かってお互いを思いやりながら連弾する素晴らしさを体験させることができました。当日、友だち・

親戚・両親が見守る中で、ステージに立ちました。弾き終わった時の笑顔が印象的でした。

#### 【わくわくクラブ】

小学生1年～6年生を対象にしたクラブです。今年度もコミュニティ協議会さんから協力してもらい、質の高いものを体験させることができました。10回の講座を企画できました。電気発電実験、新聞紙ドーム作り、クラフト工作、クッキング、クリスマスリース作りなど男女を問わず参加しやすい内容でした。講師を招いて指導を受けながら、時にはみんなで協力しながら作品を作りあげたり、黙々と一人で作業したりして作品を仕上げました。作品が出来上がった達成感を味わうことができました。

#### 【イングリッシュクラブ】

今年度も小学1年～6年生を対象に行いました。白根コミュニティ協議会さんから全面的に協力してもらいました。講師に来てもらい、テキストを使って本格的な指導を受けることができました。低学年・高学年と2クラスに分けて募集をし、あっという間に定員に達してしまいました。低学年は英語に親しむ、高学年は簡単な単語を使って話すことを目標にしました。最後に高学年は発表会を開き、成果を保護者・運営協議会会長が見に来てくれました。保護者からも好評で、来年度もぜひお願いしますと要望がきています。来年度も引き続き開催できるように計画していきたいと思います。

### ②子ども会議

イベントを企画するとき、子どもたちに声をかけて、行事の内容を話し合っています。参加するよりボランティアで企画をしたいという声が上がることもあります。子どもたちの意見を尊重しながら内容を決めています。時には意見が分裂することもあります。職員が間に入り、子どもたちの自主性を認めるように働きかけています。

### ③その他の行事

広いアリーナを使って、ドッジボール大会・バドミントン大会・バスケットボール大会などを開催しました。チームプレーで仲間同士助け合ったり、勝つために作戦を練ったりしました。勝負ごとになると、子どもたちの本気モードが全開になります。

季節の行事『夕涼み会』、『なつまつり』、『ハロウィン』、『クリスマス会』、『お正月お楽しみ会』、『しろねふゆまつり』も子どもたちの意見を取り入れながら行いました。イベントによっては、高齢者の方と触れ合う機会を設けて多世代交流を行いました。

### (2) 来期の課題

子どもが安心して遊ぶことができる場所として周知されました。子どもたちの生活

環境は、大きく変わる事があります。常に子どもの様子の変化を見落とさないように、地域の方々と情報交換しながら見守っていきます。小学校との連携も密にしていきたいと思います。

### 3. 中・高生事業

#### (1) 総括

中学生は、小学生の頃から児童センターに遊びに来ているので、広いアリーナで体を動かしながら職員との会話を楽しみにしています。一年生は、小学生の頃から楽しみにしていた中高生タイム（6時から7時）で、マイシューズ・マイラケットを使って楽しんでいます。時々中学生でアリーナが専有状態になることもありました。今年度の特徴だと思います。6時50分頃来館することもあり、わずかな時間でも遊びに来てくれました。とにかく児童センターに顔を出したいという子どもの姿が見られました。『なつまつり』『夕涼み会』の準備を自主的に手伝ってくれる頼もしい姿も見られました。

#### (2) 来期の課題

中高生の来館が定着してきました。アリーナで体を動かすだけでなく、子どもとの会話を通して心に寄り添っていききたいと思います。長い年月で子どもたちの成長を見守り、『居場所』としての役割を果たしていききたいと思います。

### 4. 地域との連携事業

#### ①大風合戦協会との連携事業

- ・白根子ども凧合戦の参加

#### ②白根コミュニティ協議会との共催事業

- ・わくわくクラブ
- ・イブニングコンサート&クリスマスコンサート
- ・ママのやすらぎタイム
- ・しろねふゆまつり

#### ③白根地区社会福祉協議会との共催事業

- ・高齢者との多世代交流事業『レクダンスを楽しもう！！』

#### ④ボランティアさんと連携事業

- ・折り紙教室      ・わくわくクラブ
- ・なつまつり
- ・しろねふゆまつり～多数の団体が参加～